

【生薬名】 大黄、*RHEI RHIZOMA*

【起源植物】 錦紋大黄 *Rheum palmatum*, *R. tanguticum*,
雅黄・馬蹄大黄 *R. officinale*



【科名】 タデ科 *Polygonaceae*

【別名】 將軍

【薬用部分】 根茎

【主成分】 アンスラキノ誘導体(クリソファノール、エモジン、レイン、アロエモジンなど)、タンニン類

【薬性】 気味は苦寒、帰経は脾胃大腸心包肝に属す

【効能】 ●攻積導滞・瀉火凉血・祛瘀通経

●瀉下作用はおだやかで服後6時間で1回の軟便の排出を見る

●アンスラキノ誘導体でレイン、エモジン、アロエモジンの抗菌力が強くブドウ球菌・レンサ球菌・シフテリア菌・チフス菌・パラチフス菌・肺炎球菌・赤痢菌等(in vitro)

●タンニンの収斂作用で、大黄による瀉下の後には通常便秘傾向にある

●抗菌、抗腫瘍、消炎、鎮痛の作用がある

●窒素代謝改善、腎不全改善、各種の向精神作用

●漢方的には体内の毒を搗きほぐして外に出すと考えるとよい

●思うほど身体を冷やさない為に陰証でも結構使う処方がある

【出典】 ●下瘀血血閉. 寒熱. 破癥瘕積聚. 留飲宿食. 蕩滌腸胃. 推陳致新.
通利水穀. 調中化食. 安和五藏. (神農本草經下品)

●苦寒、血を破り、瘀を消し膈を快くし、腸を通し積聚を破除す。(薬性歌)

【備考】 ●正倉院には1200年前の大黄があり今でも使用できるという

●マルバダイヤク、和大黄(カガイヤク)、土大黄は腹痛強く薬用には不適

●錦紋大黄は質の堅い重質の北大黄で断面につむじ紋様がある

●雅黄は経質の南大黄は内部に隙間が多く質も粗い

●馬蹄大黄は頭部を縦割りにしたもので形状が馬の蹄に似ている

●生大黄は瀉下、酒製すると消炎・活血、虚弱者は製大黄がよい

【処方例】 ●大承気湯、大甘丸